

サイボウズ Office 10
ファイルアップツール
for kintone
マニュアル

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社のWebサイトを参照してください。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>

なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

目次

1章 ファイルアップツール for kintone.....	4
1.1. 作業の前に確認すること.....	4
1.2. サイボウズ Officeでの準備.....	8
1.3. kintoneでの準備.....	9
1.4. ファイルアップツールのインストール.....	12
1.5. ファイルアップツールを実行する.....	18
1.6. アップロード後の作業.....	30

1章 ファイルアップツール for kintone

ファイルアップツール for kintone（以降、ファイルアップツール）を使用して、カスタムアプリから一括ダウンロードした添付ファイルを、kintoneアプリにまとめてアップロードできます。

1.1. 作業の前に確認すること

ファイルアップツールを使用する前に確認する項目を説明します。

動作環境

ファイルアップツールは、次の環境で動作を確認しています。

- パソコンのOS：Windows 11
- パッケージ版 サイボウズ Office：バージョン 10.0.0以降

上記以外のOSはサポート対象外です。

ライセンスと権限

ファイルアップツールを使用してカスタムアプリのファイルをkintoneにアップロードするには、次のライセンスと権限が必要です。

- ライセンス：
次の契約が必要です。
 - サイボウズ Office 10：プレミアムコースおよび継続サービスライセンス
 - kintone：スタンダードコース以上

- Windowsの管理者権限：
ファイルアップツールをインストールするには、Windowsの管理者権限が必要です。
- kintoneのアクセス権：
次のすべての権限が必要です。

- アプリの作成
- レコードの閲覧および編集
- 更新キーになるフィールドの閲覧
- 添付ファイルフィールドの閲覧および編集

kintoneのアクセス権については、kintoneヘルプの[アクセス権の設定](#)を参照してください。

補足

- 作成済みのアプリにファイルをアップロードする場合、アプリを作成する権限は不要です。

アップロード可能なファイル数

ファイルアップツールでアップロードできるファイルの上限は、1回あたり2,000個です。ファイルが2,000個に達すると、処理を中断します。

まだアップロードしていないファイルがある場合は、必要に応じて[アップロードを再開\(29ページ\)](#)してください。

制限事項

ファイルアップツールには次の制限事項があります。

- 次の環境は、ファイルアップツールのサポート対象外です。
 - SAML認証または2要素認証が設定されている

- セキュアアクセスを使用している
- kintoneのゲストスペースのアプリは、アップロードの対象外です。
- カスタムアプリのコメントに添付されているファイルは、アップロードの対象外です。
- カスタムアプリの項目名が「コメント」か、項目名に「-」（ハイフン）を含む場合、その項目の添付ファイルはkintoneにアップロードできません。添付ファイルを書き出す前に、項目名を変更してください。

作業の流れ

下記のステップで作業します。

完了したStepのチェックボックスを選択すると、チェックシートとして利用できます。

Steps:

- Step 1 [kintoneのライセンスを取得します。](#)
- Step 2 [カスタムアプリのデータを準備します。](#)
- Step 3 [アプリを用意します。](#)
- Step 4 [ファイルアップツールをインストールします。](#)
- Step 5 [カスタムアプリの添付ファイルをkintoneにアップロードします。](#)

Step 1

kintoneでの作業 kintoneのライセンスを取得します。

あらかじめkintoneの試用を申し込むか、スタンダードコース以上のコースを契約してください。

詳細は、サイボウズドットコムストア、または[サイボウズのパートナー](#)にお問い合わせください。

Step 2

サイボウズ Officeでの作業 カスタムアプリのデータを準備します。

カスタムアプリの添付ファイルを書き出します。
詳細は[サイボウズ Officeでの準備\(8ページ\)](#)を参照してください。

**Step
3****kintoneでの作業** アプリを用意します。

カスタムアプリのデータの移行先となるkintoneアプリを作成します。
詳細は[kintoneでの準備\(9ページ\)](#)を参照してください。

**Step
4**

ファイルアップツールをインストールします。

お使いのパソコンに、最新の[ファイルアップツールをインストール\(12ページ\)](#)します。

**Step
5**

カスタムアプリの添付ファイルをkintoneにアップロードします。

ファイルアップツールを使用して、カスタムアプリから書き出した添付ファイルをkintoneアプリにアップロードします。
詳細は[ファイルアップツールを実行する\(18ページ\)](#)方法を参照してください。

1.2. サイボウズ Officeでの準備

ファイルアップツールを実行する前にサイボウズ Officeで準備することを説明します。

必要な情報を確認する

カスタムアプリから一括ダウンロードしたファイルに適切なファイル名が設定されるように、ファイルが添付されている項目の項目名を確認します。

項目名が次のいずれかの条件を満たす場合は、添付ファイルを書き出す前に項目名を変更する必要があります。

- 項目名に「-」（ハイフン）が含まれている：
「-」を削除するか、ほかの文字に置き換えてください。
- 「コメント」という項目名を使用している：
「コメント」以外の文字列に変更してください。

カスタムアプリのデータを準備する

カスタムアプリのレコードデータと添付ファイルを準備します。この操作はカスタムアプリの運用管理者が行います。

レコードデータの準備

アプリのレコードデータをCSVファイルに書き出します。

詳細は、[CSVファイルに書き出す方法](#)を参照してください。

注意

- レコードデータをCSVファイルに書き出すときは、必ず「レコード番号」（登録データ番号）を含めてください。

カスタムアプリの「レコード番号」の値とkintoneアプリの更新キーの値が一致するレコードに、ファイルがアップロードされます。

添付ファイルの準備

kintoneにアップロードするファイルを準備します。

1. カスタムアプリのレコードに添付されているファイルを一括ダウンロードします。

詳細は、[アプリの添付ファイルの一括ダウンロード](#)を参照してください。

2. zipファイルを展開します。

手順1でダウンロードしたzipファイルを、任意のフォルダーにすべて展開します。ファイルアップツールを実行する際、このフォルダーを使用します。

1.3. kintoneでの準備

ファイルアップツールを実行する前にkintoneで準備することを説明します。

補足

- 作業を開始する前に、[サイボウズ Officeでの準備\(8ページ\)](#)が終わっていることを確認してください。

必要な情報を確認する

お使いの環境にプロキシサーバーやBasic認証を設定している場合は、あらかじめ次の情報を取得してください。

- プロキシサーバーを設定している場合：
 - プロキシサーバーのURL
- Basic認証を設定している場合：
 - Basic認証のログイン名とパスワード

Basic認証の設定について、詳細は[Basic認証を設定する方法](#)を参照してください。

kintoneアプリを準備する

1. カスタムアプリから書き出したレコードデータのCSVファイルを使用して、kintoneアプリを作成します。

カスタムアプリのレコード番号に相当するフィールドには、必ず「数値」タイプを設定してください。

CSVファイルからkintoneアプリを作成する手順については、kintoneヘルプの[CSVファイルからアプリを作成する方法](#)を参照してください。

2. 手順1で設定したレコード番号に相当するフィールドを、値の重複を禁止する設定に変更します。

値の重複を禁止する方法は、kintoneヘルプの[数値](#)の設定を参照してください。

フィールド名 *

案件番号

フィールド名を表示しない

桁区切りを表示する

必須項目にする

値の重複を禁止する

値の制限 (整数で指定)

最小 最大

3. 手順1で作成したアプリのフォームに、添付ファイルフィールドを追加します。

CSVファイルからkintoneアプリを作成する場合、添付ファイルフィールドを指定できません。

kintoneアプリを作成してから、添付ファイルフィールドを追加します。

kintoneアプリのフォームにフィールドを配置する手順は、kintoneヘルプの[フォームを設定する方法](#)を参照してください。



1.4. ファイルアップツールのインストール

ファイルアップツールのインストールは、Windowsの管理者権限を持つユーザーが行います。作業の前に、次の条件を満たしていることを確認してください。

- 作業するパソコンのOS：Windows 11
- 作業するユーザー：Windowsの管理者
- ネットワークの環境：kintoneにアクセスできる環境

インストーラーを入手する

最新のインストーラーをダウンロードします。

次のリンクをクリックし、ファイルアップツールのインストーラーを任意のフォルダーに保存します。

[ファイルアップツールをダウンロードする](#)

ファイルアップツールをインストールする

ファイルアップツールをWindows環境にインストールする手順を説明します。

1. インストーラーを実行します。

ダウンロードしたファイルアップツールのインストーラー（例：fileuptool-1.0.0.29-windows.msi）をダブルクリックします。

セットアップウィザードが起動します。

2. **次へ** をクリックします。



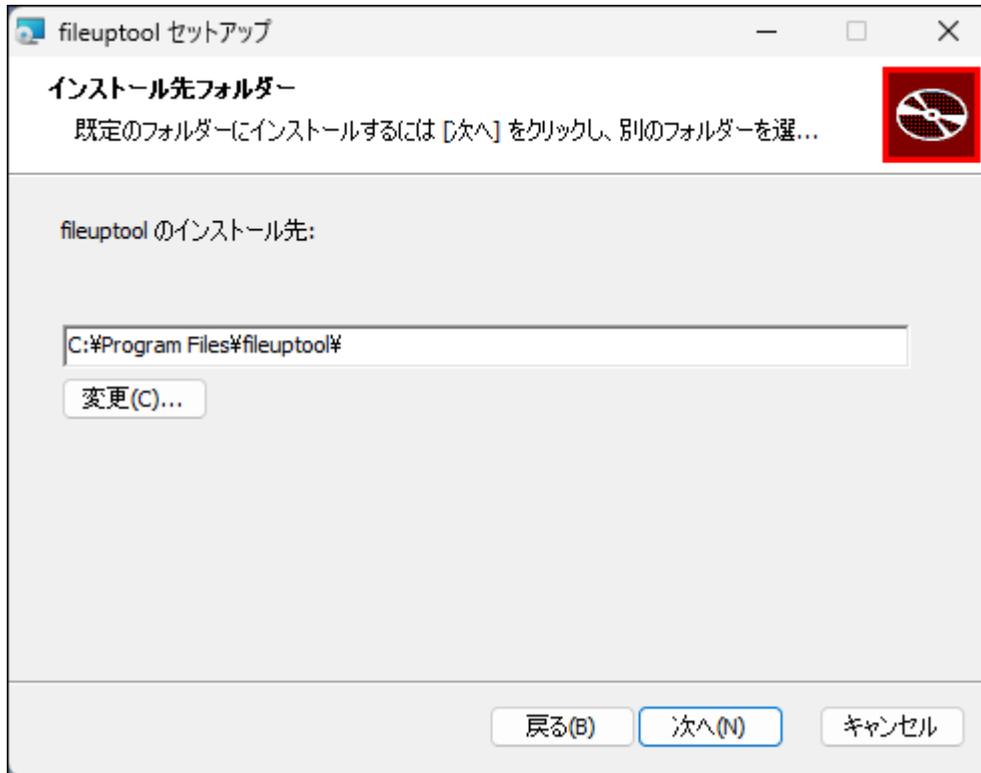
3. インストール先のフォルダーを確認し、**次へ** をクリックします。

通常はインストール先フォルダーを変更する必要はありません。

変更する場合は **変更** をクリックし、任意のフォルダーを選択します。

インストール先フォルダーの初期値は、次のとおりです。

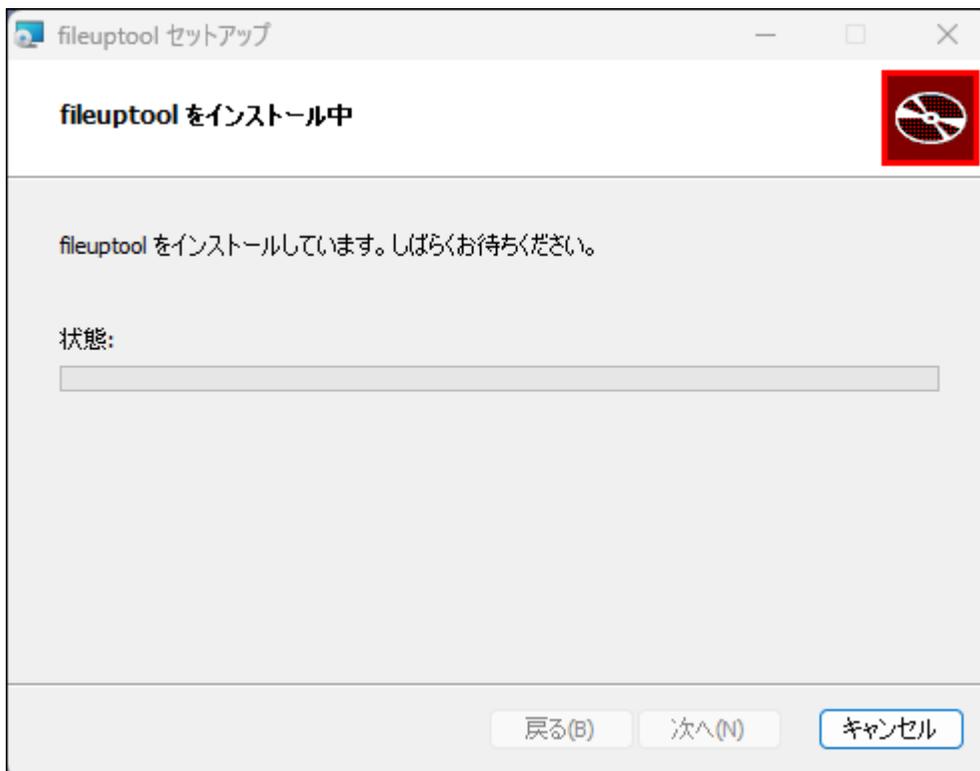
- C:\Program Files\fileuptool\



4. **インストール** をクリックします。



インストールが始まります。



5. インストール終了後、ファイルアップツールを起動するかどうかを選択します。

「fileuptool セットアップ ウィザードが完了しました」が表示されれば、インストールは正常に終了しています。

続けてファイルアップツールを起動する場合は、「Launch fileuptool」のチェックボックスを選択したままにします。

インストールだけ行い、あとでファイルアップツールを起動する場合は、「Launch fileuptool」のチェックボックスの選択を外します。



6. **完了** をクリックします。

これでファイルアップツールのインストールは終了です。

手順5で「Launch fileuptool」のチェックボックスを選択している場合は、ファイルアップツールが起動します。



ファイルアップツールの使いかたは、[ファイルアップツールを実行する\(18ページ\)](#)を参照してください。

■ ファイルアップツールのアンインストール方法

ファイルアップツールをアンインストールするには、Windowsの設定の「インストールされているアプリ」からアンインストールします。



1.5. ファイルアップツールを実行する

ファイルアップツールを使用して、カスタムアプリの添付ファイルをkintoneアプリにアップロードします。

作業を開始する前に、次の準備が終わっていることを確認してください。

- 動作確認や制限事項などの確認：
詳細は[作業の前に確認すること\(4ページ\)](#)を参照してください。
- アップロードするファイルの準備：
詳細は[サイボウズ Officeでの準備\(8ページ\)](#)を参照してください。
- [kintoneでの準備\(9ページ\)](#)
- [ファイルアップツールのインストール\(12ページ\)](#)

アップロードの設定

ファイルアップツールの起動方法と、実行に必要な設定について説明します。

ファイルアップツールのインストール完了後に起動画面が表示されている場合、この操作は不要です。そのまま[プロキシを設定する](#)手順に進みます。

1. 次のいずれかの方法でファイルアップツールを起動します。

- デスクトップに表示されている、ファイルアップツールのショートカットアイコン  をダブルクリックする。
- Windowsのスタートメニューで「fileuptool」を検索し、検索結果からアプリ名やアイコン、または[開く]をクリックする。
- ファイルアップツールをインストールしたフォルダーで、fileuptool.exeをダブルクリックする。
 - 例：
C:\Program Files\fileuptool\fileuptool.exe

2. ファイルアップツールの起動画面が表示されることを確認します。



続いて、ファイルアップツールを実行するために必要な情報を設定します。

お使いの環境でプロキシサーバーを使用している場合は、**プロキシを設定する** をクリックして、[プロキシを設定する](#) 手順に進みます。

プロキシサーバーを使用していない場合は、**始める** をクリックして、[基本の情報を設定する](#) 手順に進みます。

プロキシを設定する

お使いのネットワーク環境で使用しているプロキシサーバーの情報を設定します。

プロキシサーバーを使用していない場合、この設定は不要です。[基本の情報を設定する](#) 手順に進みます。

1. 「プロキシの設定」画面で、「利用する」を選択します。

プロキシの設定

プロキシサーバーを経由して外部ネットワークに接続する場合は、プロキシサーバーのURLを指定します。

プロキシサーバーの利用 利用する 利用しない

プロキシサーバーのURL

2. プロキシサーバーのURLを入力します。

「kintoneでの準備」で[必要な情報を確認する\(10ページ\)](#)際¹に取得したURLを入力します。

3. **保存する** をクリックします。

ファイルアップツールの起動画面に戻ります。

これでプロキシの設定は完了です。

始める をクリックして、[基本の情報を設定する](#)手順に進みます。

基本の情報を設定する

kintoneにアクセスするための情報と、アップロードするファイルの保存場所を設定します。

1. 「基本設定：はじめに」画面で、**設定を始める** をクリックします。

基本設定：はじめに

基本設定：サブドメインの指定 > アカウントの入力 > フォルダの指定 > 設定の確認

基本設定を行います。

カスタムアプリの添付ファイルを kintone アプリにアップロードするために、次の情報を設定します。

- サブドメイン
- アカウント
- アップロードするファイルのフォルダ

設定を始める

戻る

2. ファイルをアップロードするkintoneのサブドメインを入力します。

基本設定：サブドメインの指定

基本設定：サブドメインの指定 > アカウントの入力 > フォルダの指定 > 設定の確認

アップロード先の kintone のサブドメインを指定します。

サブドメイン .cybozu.com

次へ進む

戻る

3. **次へ進む** をクリックします。

お使いの環境でBasic認証を使用している場合は「基本設定：Basic認証」画面が表示されます。

Basic認証を使用していない場合は、手順5に進みます。

4. Basic認証で使用するユーザー名とパスワードを入力し、**次へ進む** をクリックします。

「kintoneでの準備」で[必要な情報を確認する\(10ページ\)](#)際に取得したBasic認証のユーザー名とパスワードを入力します。

基本設定：Basic認証

基本設定：サブドメインの指定 > アカウントの入力 > フォルダの指定 > 設定の確認

お使いの環境はBasic認証が設定されています。

操作を続けるには、Basic認証のユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名

パスワード

5. kintoneアプリでレコードの追加や編集ができるユーザーのログイン名とパスワードを入力し、**次へ進む** をクリックします。

基本設定：アカウントの入力

基本設定：サブドメインの指定 > アカウントの入力 > フォルダの指定 > 設定の確認

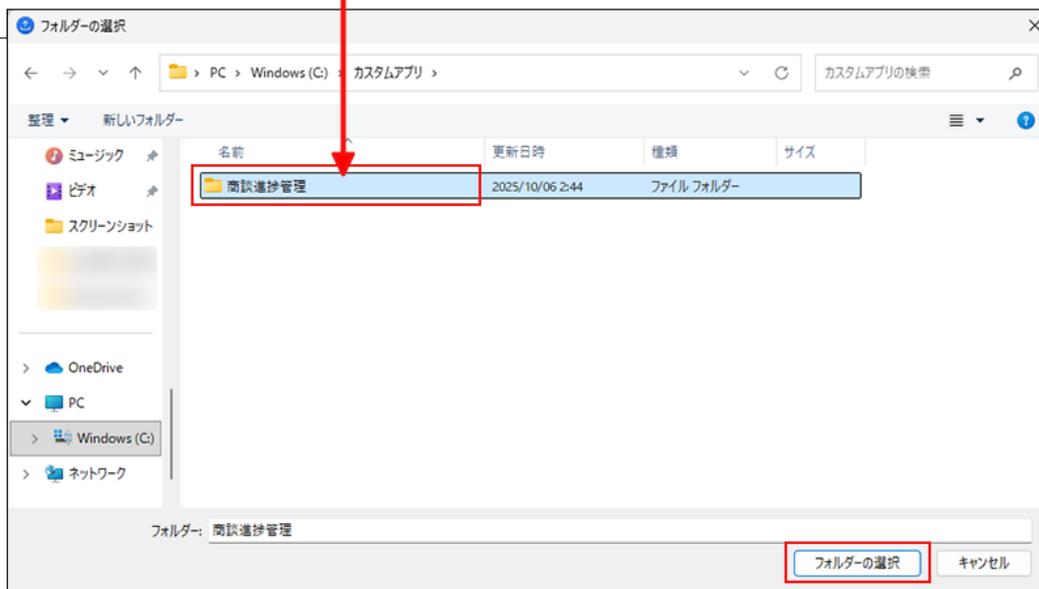
kintone にアクセスするためのログイン名とパスワードを入力します。

ログイン名

パスワード

6. フォルダの **選択する** をクリックします。

Windowsのエクスプローラーが表示されます。アップロードするファイルが保存されているフォルダを選択し、**フォルダの選択** をクリックします。



7. **基本設定を確認する** をクリックします。

8. 設定した内容を確認し、**設定を完了する** をクリックします。

変更する項目があれば、各項目の **変更する** をクリックし、設定を変更します。

基本設定：設定の確認

基本設定：サブドメインの指定 > アカウントの入力 > フォルダの指定 > 設定の確認

設定した内容を確認します。

基本設定

サブドメイン	cybozu.com	変更する
kintone にアクセスするログイン名	daisuke-kato	変更する
ファイルが保存されているフォルダ	C:\¥カスタムアプリ¥商談進捗管理	変更する

[設定を完了する](#) [戻る](#)

これで基本設定は完了です。

続いて、ファイルの[アップロードを実行](#)します。

アップロードを実行する

基本設定が完了したら、カスタムアプリの添付ファイルをkintoneアプリにアップロードします。

1. 「アップロード：はじめに」画面で、[設定を始める](#) をクリックします。

アップロード：はじめに

アップロード： アプリとフィールドの指定 > 設定の確認 > 実行 > 結果の確認

ファイルのアップロード先を指定し、アップロードを実行します。

次の情報を設定し、ファイルを kintone アプリにアップロードします。

- アップロード先の kintone アプリ
- ファイルを添付する kintone アプリのフィールド

アップロードを再開する場合：

再開可能なログがあれば、ログの詳細画面の **中断したところから再開する** で再開できます。

過去のアップロードのログは、**実行ログ一覧を確認する** から確認します。

設定を始める

実行ログ一覧を確認する

戻る

2. ファイルのアップロード先の情報を設定します。

アップロード：アプリとフィールドの指定

アップロード： アプリとフィールドの指定 > 設定の確認 > 実行 > 結果の確認

アップロード先の kintone アプリとフィールドを指定します。

カスタムアプリのファイル項目は自動的に入力されます。

kintone アプリ

商談



商談管理

kintone アプリの更新キー

案件番号



カスタムアプリのレコード番号に対応するフィールドを指定します。

カスタムアプリのファイル項目

見積り

→

kintone アプリのフィールド

見積書



設定を確認する

戻る

次の項目を設定します。

- kintoneアプリ：

アプリ名でアプリを検索します。検索結果から、ファイルをアップロードするアプリを選択します。
- kintoneアプリの更新キー：

kintoneアプリのレコードを一括で更新するためのキーです。カスタムアプリのレコード番号に対応するフィールドを指定します。
- カスタムアプリのファイル項目：

カスタムアプリでファイルを添付していた項目が表示されます。
- kintoneアプリのフィールド：

ファイルをアップロードする添付ファイルフィールドを選択します。
ドロップダウンリストに目的のフィールドが表示されない場合は、kintoneアプリの設定を確認してください。
カスタムアプリに複数のファイル項目が設定されている場合は、項目ごとに添付ファイルフィールドを選択します。ファイルをアップロードしない項目は「（未設定）」を選択します。

 - 複数のファイル項目が設定されている例：

		kintone アプリの更新キー	
		<input type="text" value="依頼番号"/>	
		<small>カスタムアプリのレコード番号に対応するフィールドを指定します。</small>	
カスタムアプリのファイル項目		kintone アプリのフィールド	
<input type="text" value="期待する結果"/>	→	<input type="text" value="期待する結果"/>	
<input type="text" value="資料"/>	→	<input type="text" value="(未設定)"/>	
<input type="text" value="結果 (画像)"/>	→	<input type="text" value="結果 (画像)"/>	
<input type="button" value="設定を確認する"/>		<input type="button" value="戻る"/>	

3. **設定を確認する** をクリックします。

手順2で設定した内容が表示されます。

4. アップロードの設定内容を確認し、**アップロードを実行する** をクリックします。
- ファイルのアップロードが始まります。

5. 進行状況に「完了しました。」が表示されれば、アップロードは完了です。



アップロードされないファイルがあるか、kintoneアプリのレコードの更新に失敗した場合は、処理を中断したことを示すメッセージが表示されます。

アップロードの結果を確認するには、**結果を確認する** をクリックします。

結果の見かたは[アップロード後の作業\(30ページ\)](#)を参照してください。

アップロードを中断する

想定していたよりファイルのアップロードに時間がかかる、エラーが解消しないなど、アップロードを続けられない場合は処理を中断できます。

アップロードを中断するには、「アップロード：実行」画面で **アップロードを中断する** をクリックします。

1回の実行でアップロードしたファイルが2,000個に達した場合も、処理が中断します。

アップロードを再開する

アップロードが中断された場合は、まだアップロードされていないファイルから再開できます。

アップロードを再開するには、最新の実行ログの詳細画面で、 **中断したところから再開する** をクリックします。

- 実行ログの詳細画面の例：

実行ログの詳細

アップロードの実行結果

実行日時	2025/10/24 18:05:49
状況	中断（再開できます）

基本情報

サブドメインcybozu.com
ファイルが保存されているフォルダー	C:\¥カスタムアプリ¥開発依頼
kintone アプリ	開発依頼（id:49）
kintone アプリの更新キー	依頼番号
移行先のフィールド	期待する結果, 結果（画像）
移行したファイル数	21

[結果の確認に戻る](#) [中断したところから再開する](#)

実行ログについて、詳細は[アップロード後の作業\(30ページ\)](#)を参照してください。

1.6. アップロード後の作業

ファイルのアップロードの実行後に行う作業について、説明します。

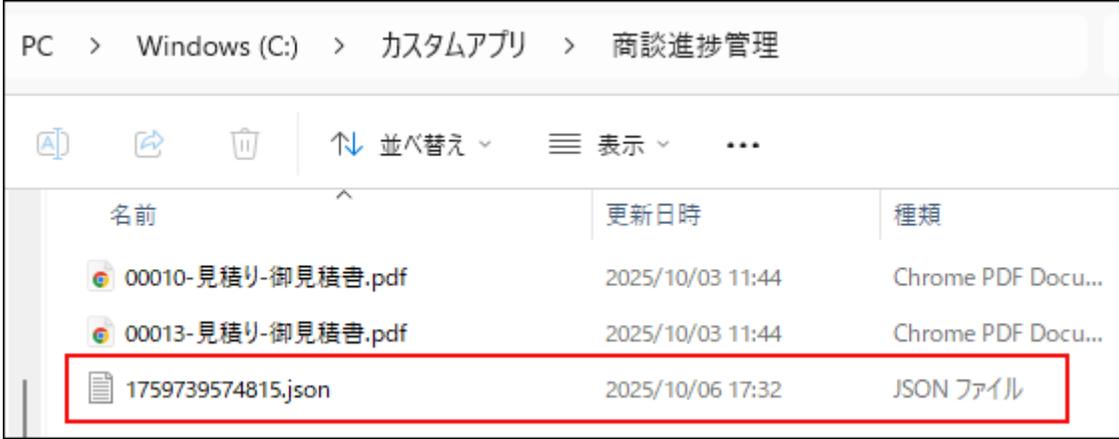
実行結果を確認する

アップロードの実行結果を確認します。

アップロードを実行するごとに実行結果のログが作成されます。アップロードを中断すると、中断するまでの実行結果がログに保存されます。

補足

- アップロードの実行結果は、アップロードするファイルが保存されているフォルダーに、JSON形式で保存されます。
ファイルアップツールをアンインストールするなどして実行結果が不要になるまでは、移動または削除しないでください。



名前	更新日時	種類
00010-見積り-御見積書.pdf	2025/10/03 11:44	Chrome PDF Docu...
00013-見積り-御見積書.pdf	2025/10/03 11:44	Chrome PDF Docu...
1759739574815.json	2025/10/06 17:32	JSON ファイル

アップロード実行後に結果を確認する

ファイルの[アップロードを実行\(25ページ\)](#)した後、続けて結果を確認する手順を説明します。

1. 「アップロード：実行」画面で、**結果を確認する** をクリックします。



実行結果の概要が表示されます。

2. 実行結果を確認します。

アップロード対象のファイル数と移行したファイル数が、一致しているかどうかを確認します。

アップロード：結果の確認

アップロード：アプリとフィールドの指定 > 設定の確認 > 実行 > 結果の確認

アップロードを完了しました。

実行結果

実行日時	2025/10/9 18:12:31
kintone アプリ	🔗 検討依頼
kintone アプリの更新キー	依頼番号
移行先のフィールド	添付ファイル
移行したファイル数	2

※ 結果の詳細は実行ログで確認してください。

[実行ログを確認する](#) [起動画面に戻る](#) [kintone アプリを確認する](#)

実行結果の詳細を確認するには、さらに [実行ログを確認する](#) をクリックします。
実行結果の詳細については、[「実行ログの詳細」画面の見かた](#)を参照してください。

過去の実行ログを確認する

これまでに実行したアップロードの結果を確認する方法を説明します。

1. 「アップロード：はじめに」画面で、[実行ログ一覧を確認する](#) をクリックします。

アップロード：はじめに

アップロード： アプリとフィールドの指定 > 設定の確認 > 実行 > 結果の確認

ファイルのアップロード先を指定し、アップロードを実行します。

次の情報を設定し、ファイルを kintone アプリにアップロードします。

- アップロード先の kintone アプリ
- ファイルを添付する kintone アプリのフィールド

アップロードを再開する場合：

再開可能なログがあれば、ログの詳細画面の **中断したところから再開する** で再開できます。

過去のアップロードのログは、**実行ログ一覧を確認する** から確認します。

設定を始める

実行ログ一覧を確認する

戻る

実行ログの一覧が表示されます。一覧には、アップロードを実行した日時の新しい順にログが表示されます。

2. 詳しい結果を確認するには、目的のログの **詳細を見る** をクリックします。

状況が「中断」のログが複数保存されている場合は、最新のログの詳細から [アップロードを再開\(29ページ\)](#) できます。

実行ログ一覧

アップロードの実行結果

実行日時	kintone アプリ	移行したファイル数	状況	
2025/10/9 18:12:31	検討依頼 (id:31)	2	完了	詳細を見る
2025/10/9 18:10:52	検討依頼 (id:31)	10	中断	詳細を見る
2025/10/9 18:05:25	検討依頼 (id:31)	8	中断	詳細を見る

[アップロードの設定に戻る](#)

「実行ログの詳細」画面の見かた

実行ログの詳細の見かたを説明します。

実行ログの詳細

アップロードの実行結果

実行日時 2025/10/24 18:05:49

状況 **中断（再開できます）**

基本情報

サブドメイン cybozu.com

ファイルが保存されているフォルダー C:\¥カスタムアプリ¥開発依頼

kintone アプリ 開発依頼 (id:49)

kintone アプリの更新キー 依頼番号

移行先のフィールド 期待する結果, 結果 (画像)

移行したファイル数 21

ファイルごとの実行結果

開始日時	処理	更新キー	移行先のフィールド	ファイル	結果
2025/10/24 18:05:49	アップロード	2	期待する結果	screenTopEditmode.png	成功
2025/10/24 18:05:53	アップロード	52	結果 (画像)	reflect.png	成功
2025/10/24 18:05:54	アップロード	53	結果 (画像)	reflect.png	中断
2025/10/24 18:05:54	レコードの更新	2			成功
2025/10/24 18:05:54	レコードの更新	9			成功

結果の確認に戻る 中断したところから再開する

番号	説明
1	<p>状況：</p> <p>次のいずれかの状況が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 完了： 処理が正常に完了しました。 • 中断（再開できます）： 最新のログに表示されます。ユーザーが処理を中断したか、エラーによって処理が中断されました。

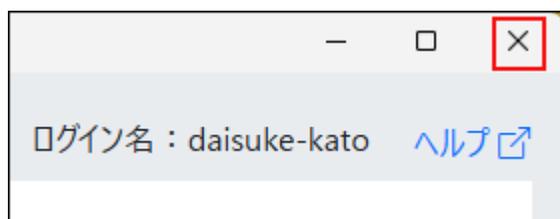
番号	説明
	<ul style="list-style-type: none">• 中断（再開できません）： 古いログに表示されます。ユーザーが処理を中断したか、エラーによって処理が中断されました。• 上限値による中断（再開できます）： 最新のログに表示されます。アップロードできるファイルの上限に達したため、処理を中断しました。• 上限値による中断（再開できません）： 古いログに表示されます。アップロードできるファイルの上限に達したため、処理を中断しました。
2	基本情報： ファイルアップツールを実行する際に 設定した基本の情報(20ページ) が表示されま す。
3	移行したファイル数： ファイルのアップロードからkintoneアプリのレコードの更新まで、処理が正常に終 了したファイルの数です。 アップロード対象のファイル数よりも少ない場合は、次の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">• アップロード、またはkintoneアプリのレコードの更新処理がスキップされた。• アップロード、またはkintoneアプリのレコードの更新処理に失敗した。
4	ファイルごとの実行結果： ファイルごとに、アップロードの結果とkintoneアプリのレコードの更新結果が表示 されます。 ただし、ファイルのアップロード、またはkintoneアプリのレコードの更新処理がス キップされた場合は、ログに表示されません。 アップロードやkintoneアプリのレコードの更新に失敗したファイルは、アップロー ド前の状態に戻ります。必要に応じて再度 アップロードを実行(25ページ) してくださ い。
5	

番号	説明
	<p>ボタン：</p> <ul style="list-style-type: none"> • [結果の確認に戻る]／[実行ログ一覧に戻る] 詳細画面を表示する前の画面に戻ります。 • [中断したところから再開する] 最新の実行ログにだけ表示されます。基本設定の「移行元のフォルダー」として選択しているフォルダーで、まだアップロードされていないファイルのアップロードを再開します。

ファイルアップツールを終了する

ファイルアップツールを終了する場合は、アップロードツールのウィンドウの  ボタンをクリックします。

アップロードの実行中にファイルアップツールを終了する場合は、アップロードを中断してから終了します。



© Cybozu